

I 総務課

- 1 理事会、評議員会の開催
(1) 理事会の開催 (4回/年)・評議員会の開催 (2回/年)
- 2 監査の実施
(1) 社協監事による監査 (1回/年)

II 地域支援の重点事業の成果及び実績

- 1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進
 - (1) ふれあい地区社会福祉協議会
 - ①役員会の開催 (4回/年)・代表者会の開催 (2回/年)
 - ②ふれあい地区社協校区別研修会の開催 (4回/年・176人)
 - ③ふれあい地区社協合同研修会開催 (1回/年・197人)
 - (2) 高齢者世帯困りごとアンケート調査の実施
(1回/年・回収件数395件)
 - (3) ボランティアセンター事業の推進
 - ア ボランティア活動育成事業
 - (ア) ボランティア協力校指定事業 町内小学校4校 中学校2校
 - (イ) ボランティア団体活動支援金の助成 3団体
 - (ウ) クリーンウォークの実施 (1回/年・63人)
 - (エ) メイクアップボランティア養成の実施 (3回/年・10人)
 - (オ) メイクアップ教室の開催 (10地域)
 - イ 総合学習
 - ①腹赤小学校 車いす体験・高齢者疑似体験 (36人)
 - ②六栄小学校 車いす体験 (29人)
 - ③長洲中学校 手話講師の紹介
 - (4) 児童・青少年福祉活動
 - ア 新小学一年生への援助 (133人)
 - イ 子どもデイサービス事業
(小学生16人 学生ボランティア12人)
 - (5) 各団体への支援活動
 - ①身体障がい者福祉協議会
 - ②ひまわりの里
 - ③スローすてっぴ
 - (6) 実習生受入れ
 - 九州看護福祉大学 (2人)
 - 九州保健福祉大学 (1人)
- 2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実
 - (1) 心配ごと相談所 (12回/年・28件)
 - (2) 生活福祉資金貸付・小口貸付
 - ①生活福祉資金貸付事業 (相談件数14件)
 - ②福祉金庫貸付事業 (相談件数10件)
- 3 地域福祉権利擁護事業 (実利用11人、利用回数618回)
- 4 預かりサービス事業 (実利用7人、利用回数517回)
- 5 赤十字講習会 (1回/年・36人)
- 6 受託事業
 - (1) 安心生活基盤構築事業
 - ア 協力会員交流研修会 (1回/年・32人)
 - イ 利用実績報告 (延利用件数800件)
 - ウ 地域説明会 (6地区6回/年)
 - (2) 生活困窮者総合相談支援事業 (継続支援26件、新規相談18件)
 - (3) 緊急対応生活支援事業 (支援件数8件)
- 7 子育て支援・児童健全育成事業の推進
 - (1) 子育て支援センター事業
(開館日:302日、総数:幼児4,324人、大人3,467人)
 - ①にこにこサロン (毎月第1木曜日・延子ども241人、大人191人)
 - ②はいはい・よちよち大会 (2回/年・子ども53人、大人47人)
 - ③人形劇鑑賞会 (1回/年・子ども59人、大人35人)
 - ④おゆずり会 (2回/年・子ども11人、大人9人)
 - ⑤コンサート
(世代間交流事業:1回/年・子ども22人、大人24人)
 - ⑥ベビーマッサージ (4回/年・子ども34人、大人29人)
 - ⑦親子ヨガ (4回/年・子ども52人、大人46人)
 - ⑧ベビーアート (2回/年・子ども37人、大人31人)
 - ⑨1歳の誕生会 (12回/年・子ども86人、大人74人)
 - ⑩ごきげんタイム (毎週火曜日・子ども487人、大人392人)
 - ⑪イザベラ先生の英語教室 (19回/年・子ども160人、大人128人)
 - ⑫地域支援活動・幼児健診支援・サークル支援活動 等

- (2) ファミリーサポート事業
- (3) 児童館事業
 - ①児童館まつり開催 (347人)
 - ②児童館クラブ (10回/年・会員数30人)
 - ③ビデオシアター (12回/年・延児童・幼児113人、大人31人)
 - ④カルチャー教室 (2回/年・児童24人)
 - ⑤体験活動 (1回/年・児童10人)
 - ⑥コンサート (1回/年・児童5人)
 - ⑦人形劇鑑賞会 (1回/年・児童10人)
 - ⑧新春書初め大会 (1回/年・児童30人)
 - ⑨出前講座 (町内小学校 学童4ヶ所)

III 地域包括支援課

- 1 包括的支援事業 (地域包括支援センター)
 - (1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - (2) 総合相談支援業務 (相談対応3,403件)
 - (3) 権利擁護業務
 - ①高齢者虐待に関すること (相談件数81件)
 - ②権利擁護・成年後見に関すること (相談件数169件)
 - ③消費者被害に関すること (相談件数23件)
 - ④高齢者虐待に関する対応・会議 (相談件数5件)
 - ⑤消費者被害未然防止の取り組み (5回)
 - (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (支援件数116件)
○多職種連携研修会 (87人)
 - (5) 認知症総合施策事業
 - ア 認知症サポーター養成講座の開催 (7回/年・228人)
 - イ 認知症カフェの開催の支援 (4事業所)
 - ウ 認知症の方に対する声かけ・搜索模擬訓練の開催 (延64人)
 - エ R U N 伴 熊本2018長洲エリア (約120人)
 - オ 認知症初期集中支援チーム (新規相談数3件、訪問回数33回)
 - (6) 地域ケア会議の開催
 - 自立支援型地域ケア会議の開催 (22回)
 - 個別課題の地域ケア会議の開催 (8回)
 - (7) 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局
 - ア 研修会等 (6回)
 - イ 役員会 (4回)
- 2 指定介護予防事業
○計画書作成 (包括916件、委託246件)
- 3 生活支援体制整備事業
 - (1) 生活支援体制整備事業
 - ア 介護予防リーダーの養成
 - イ 通所型サービスA事業利用修了支援及び地域との連携支援
 - ウ 介護予防拠点施設等での介護予防に関する啓発活動
 - エ 関係機関や介護サービス事業所等との連携強化
 - オ 生活支援体制整備事業先進地視察研修
 - カ 有償ボランティア養成講座の開催
 - (2) 一般高齢者予防事業
 - ア 一般高齢者への介護予防教室の開催 (199教室/年・1,562人)
 - イ 認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催 (奇数月第3木曜日)
- 4 介護予防ケアマネジメント事業
○ケアプラン作成 (包括962件、委託95件)
- 5 通所型サービスA事業
 - (1) 具体的な提供プログラム
 - ア 運動機能向上プログラムの導入
 - イ 健康教室
 - ウ 認知症予防プログラム評価
 - エ 個別プログラムの実施
 - オ 「元気づくりプログラム」を導入し、セルフケアの確認を実施
 - カ 地域との交流活動の実施
 - (2) 利用状況
年・実利用者:739人
延利用者:2,973人

平成30年度
長洲町社会福祉協議会事業報告・決算報告

資金収支決算報告書

収入

事業活動による収入

	単位:円
会費収入	2,858,392
寄附金収入	1,862,000
経常経費補助金収入	27,030,964
受託金収入	62,508,600
貸付事業収入	180,000
事業収入	256,900
負担金収入	1,461,000
介護保険事業収入	9,101,010
受取利息配当金収入	11,679
その他の収入	608,912
事業活動収入 計 (イ)	105,879,457

その他の活動による収入

その他の活動収入 計 (ロ)	0
----------------	---

収入計

(イ) + (ロ) (ハ) 105,879,457

支出

事業活動による支出

	単位:円
人件費支出	82,478,339
事業費支出	10,746,672
事務費支出	6,951,285
貸付事業支出	180,000
共同募金配分金事業費	1,865,618
助成金支出	3,941,525
負担金支出	72,500
事業活動支出 計 (ニ)	106,235,939

その他の活動による支出

積立資産支出	670,800
その他の活動による支出	3,423,240
その他の活動支出 計 (ホ)	4,094,040

支出計

(ニ) + (ホ) (ヘ) 110,329,979

前期末支払資金残高	(ト)	50,357,192
当期末支払資金残高	(ハ) + (ト) - (ヘ)	45,906,670

令和元年度
社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業計画

「誰もが福祉活動に参加し・皆で支え合い・ふれあい学びあう地域」

基本方針

総務課：助け合いのある地域づくりに向けて、住民の福祉活動との協働を推進します。また、地域の福祉課題など、様々なニーズに対し、新たな仕組みづくりを構築し、相談者によりそいながら不安の解消へ支援を行っていきます。
地域包括支援課：地域に根ざした総合的な支援体制の実現と介護予防・生活支援・社会参加を一体的に融合させる仕組みづくりに努めます。

セクションごとの重点事業

■総務課

- 1) 法人運営事業（理事会・評議員会の開催）
- 2) 地域福祉活動の拡充（ふれあい地区社協、有償ボランティア等）
- 3) 第4次地域福祉活動計画の策定
- 4) 総合相談支援事業の実施（生活困窮者総合相談支援事業等）
- 5) ボランティアセンター事業（センターの運営、活動の啓発等）
- 6) 広報活動（ホームページの活用、社協だよりの掲載）
- 7) 子育て支援・児童健全育成事業の推進（町受託事業）

■地域包括支援課

- 1) 地域包括支援係（介護予防ケアマネジメント、総合相談・支援、介護予防支援等）
- 2) 通所型サービスA事業
- 3) 生活支援体制整備事業（元気あっぱリーダーの養成・支援、地域住民との座談会等）
- 4) 一般高齢者事業（各種教室の開催、介護予防拠点等への拡充、認知症カフェの開催等）

資金収支計算書

収入

事業活動による収入

	単位：千円
会費収入	2,785
寄附金収入	2,015
経常経費補助金収入	27,060
受託金収入	72,356
貸付事業収入	300
事業収入	333
負担金収入	1,463
介護保険事業収入	11,790
受取利息配当金収入	24
その他の収入	385
事業活動収入 計（イ）	118,511

その他の活動による収入

その他の活動収入 計（ロ）	0
---------------	---

収入計

(イ) + (ロ) (ハ)

118,511

前期末支払資金残高

当期末支払資金残高

支出

事業活動による支出

	単位：千円
人件費支出	84,563
事業費支出	14,042
事務費支出	10,287
貸付事業支出	300
共同募金配分金事業費	2,617
助成金支出	4,014
負担金支出	74
事業活動支出 計（ニ）	115,897

その他の活動による支出

積立資産支出	702
その他の活動による支出	3,554
その他の活動支出 計（ホ）	4,256

予備費支出（ヘ）

0

支出計

(ニ) + (ホ) + (ヘ) (ト)

120,153

(チ)

50,358

(ハ) + (チ) - (ト)

48,716

心配ごと相談

「どこに相談していいかわからない」
「こんなことで相談に行っているの？」
と悩まずにお気軽におたずねください。
弁護士が相談に応じます。
相談料は無料で、個人の秘密は固く守られます。

■日 時 7月16日㊤、8月20日㊤
■場 所 ふれあいセンター／相談室
■定 員 各月4人（予約が必要です）
■相談時間 1人30分（午前10時から正午まで）
■料 金 無料

☎・📍 町社会福祉協議会 ☎78-1440

社協会員加入のお願い

社協では、地域福祉の推進活動に対し、町内にお住まいの世帯を一般会員としてお願いしています。また、社協の地域福祉推進活動にご賛同いただける個人・商店・企業を賛助特別会員としてお願いしています。
皆さんからいただいた会費は、小地域福祉活動・ボランティア活動などの事業や福祉サービス事業など「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めるための大切な財源として活用させていただいております。

運動期間 7月1日から7月31日

会費 一般会員（一般会費） 500円
賛助会員（個人の方など） 1,000円より
特別会員（各事業所や団体） 10,000円より

町社会福祉協議会会員にご加入いただき、地域福祉活動へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

メイクアップ教室



【男性向けハンドマッサージ】



【女性向けメイク】

町社会福祉協議会では、昨年度よりメイクアップ教室を公民館等で開催しています。大好評で、多くの地域から「次回は、〇〇区で」とたくさんのご予約をいただいています。

女性だけでなく、男性も大歓迎です。一緒に楽しく参加しませんか？関心のある方は町社会福祉協議会までお声掛けをぜひよろしくお願いします。

おくやみ
【香典返し】
次の方々より、香典返しの意味でご寄付をいただき厚くお礼申し上げます。故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。
ご寄付いただきました浄財は地域福祉の向上に、大切に活用させていただきます。
【敬称略受付順】
◆受付
4月1日～5月31日
町社会福祉協議会
(☎78-1440)

行政区	寄付者名	物故者名
上 沖 洲	福田 緑	福田 正月
今 町	青山菊次郎	青山エイ子
塩 屋	津島貴美子	津島 義高
東 荒 神	大石 孝一	大石ミトシ
下 本	松山ミキエ	松山 昭夫
玉 名 市	坂井 節枝	坂井 満子
建 浜	権田 春代	権田 寅彦
上 沖 洲	海月 正弘	海月 弘子
永 方	村岡ノリ子	村岡 剛
建 浜	福田カズエ	福田 主一
東 荒 神	北野 守生	北野 綾子
梅 田	坂口 祐月	川本 竹野
腹 赤 新 町	宮本 英明	宮本 幸人
梅 田	久保田千鶴	久保田正治
梅 田	馬淵 一男	馬淵 三男

【善意の寄付】

若葉会グラウンドゴルフ愛好会より、福祉事業に役立ててくださいと寄付をいただきました。
ありがとうございました。

ミニグラウンドゴルフ交流会を開催



5月30日、げんきの館にてミニグラウンドゴルフ交流会を開催しました。当日は、げんきの館利用者と上沖洲元気あっぱ体操教室参加者が交流をしながら楽しみました。また、げんきの館の農園で育てられたそら豆を利用者が調理し、参加者全員で美味しくいただきました。
住民の方からも「定期的に交流会をしたい」と声があり、今後も地域との絆を深めていきたいと思っています。